



報 大 ね ね ね

昭和47年4月15日 No. 230

鹿兒島県肝属郡大根占町役場
発行 企画室 企画係
電話 (09942) 2-0511-0515
印刷 さかせがわ印刷所 電話 2-0140
町 昭和47年3月1日 現在推計人口
人口 男 4,865人 計 10,701人
女 5,836人
前月より 5人減

新年度予算などを決める 敬老金の支給を七十五才に

第二回定例町議会から

ことし第二回定例町議会は三月十一日に招集され、昭和四十七年度一般会計予算案、国保会計、水道会計予算案、条例改正案などを審議し、さる二十九日に閉会しました。

以下、今回議決されたものについて、そのあらましをお知らせします。

※大根占町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議長月額五万七千円、副議長四万五千円、常任委員長三万八千円、議員三万六千円、農業委員会々長七千五百円など非常勤特別職の報酬を改正しました。

※大根占町長等、教育長の給与等に関する条例の一部改正
町長月額十七万七千円、助役十四万二千円、収入役十三万三千円、教育長十三万三千円と改正しました。

※四十六年災松尾線道路災害復旧工事請負契約の変更

現在施行しているこの工事は当初予定より非常に難工事であるため、工事期限を五月三十日まで延期したものです

※固定資産評価審査委員会委員の選任について

大山勝実さんが任期満了になつていたので、その後任として再度任命することについて同意を得たものです。

※大根占町職員の給与に関する条例の一部改正

定額であつた管理職手当を給料月額の百分の六を乗じた額に改正したものです。

※大根占町就職資金貸付条例の廃止

現在就職資金は雇用先が負担している状況下であり、この資金の利用が少ないので廃止したものです。

※大根占町敬老金支給に関する条例の一部改正

八十才以上のおとしよりに對し、年額三千円だったものを次のようにしました。
満七十五才以上七十九才までの者年額 三千円
満八十才以上 八十九才までの者年額四千円
満九十才以上の者年額五千円

老人ホームの收容人員の増加により定員を三人増員したものです。

※大根占町上水道事業給水条例の一部改正

プールの衛生上の問題から基本料金の水量を百立方メートルから三百立方メートルに改め水の入れ替えを経費の面

※大根占町消防団条例の一部改正

消防団員の報酬を団長五万円、副団長三万円、分団長二万円、副分団長一万三千円、部長一万円、班長八千円、団員六千円に、出動手当を一回につき六百円に改正しました

※大根占町職員定数条例の一部改正

老人ホームの收容人員の増加により定員を三人増員したものです。

※大根占町上水道事業給水条例の一部改正

プールの衛生上の問題から基本料金の水量を百立方メートルから三百立方メートルに改め水の入れ替えを経費の面

※大根占町職員等の旅費に関する条例の一部改正

職員の出張旅費定額の改正と、公用に私有車を利用したときの燃料支給の基準を定めたものです。

※町道編入について

次の路線を町道としました
宿利原線Ⅱ農道として整備した宿利原部落地内から突喜部落地内へ通ずる延長一千三十九メートルの道路
池田川北線Ⅱ川北部落地内白水線から県道中央線へ通ずる延長二百七十メートルの道路

※大根占町税条例の全部改正

今回の全部改正は、条例を整理したことがおこな改正となつています。

※昭和四十七年度各会計予算の承認について

本年度各会計予算額は次のとおりになりました。
一般会計予算五億五千九百五十万円

誘惑にまけないようにまた少しぐらゐの難儀で職場を愛えることがないように、健康に十分留意して、頑張ってくださいと、それぞれ励ましのことばがありました。

卒業生からは四名の代表が「私の抱負」という題で、元気に今自分が考えていることを発表していました。

町からはみんなに記念品を贈り、一しよに記念撮影をしてこの日の会をとおしました

町からはみんなに記念品を贈り、一しよに記念撮影をしてこの日の会をとおしました

国民健康保険事業特別会計予算一億七百六十一万八千円
水道事業会計予算一千五百五十一万七千円

外部団体には 貸与しません 町有マイクロバス

町では町有林の下刈、植栽などに人夫を輸送することと行政上必要なものについて使用しようと、昨年マイクロバスを購入しました。ところがこの車についてみなさんがたから借用願いが非常に多くあり、町としてもみなさんがたの便宜を計ってやろうと貸与していました。しかし、いまのこのような運用は、非常に問題があります。道路運送車両法にも目的外使用で触れるおそれがある。また万一の事故発生のことを考えますと、その補償、賠償の帰属、責任体制が明確でないなど、慎重を期す必要があり、町民の便宜を計ろうとしたことが逆効果を招くことにもなりかねません。

そこでこれからは町が計画し、実施する行政上のものだけに使用しない方針です。従つて、各種団体が町の助成や指導によつて行なうもの、また、自主的に行なうものについては、貸与しないこととしました。

以上のことをよくご理解くださいまして、ご協力くださいますようお願いいたします。

△お願い 九電から電線にふれないで
近ごろ、停電事故でみなさんにたびたび迷惑をかけております。ところがその原因を調べてみますと、建設工事や農作業、あるいは木を切るためにかつてに引っぱたりしたためです。町内だけでなく隣の町まで送電をとめて原因調査をすることがたびたびあります。単なる事故や停電で、町内の人に迷惑をかけるだけでなく、生命にかかわる危険もありますので、電線のあるところで建設工事や木の伐採をするときは必ず九州電力へ連絡してください。
(大根占中裏二〇〇五〇)

ことしの選挙

両根占土地改良区 総代選挙 4月18日
海区漁業調整委員選挙 8月
農業委員選挙 7月
町長 11月

町内交通事故情報

3月末現在

	件数	負傷者	死亡
前月	1	3	0
本月	2	2	0
本年累計	3	5	0

交通安全協会調べ

社会の流れに即した

豊かで明るい大根占町建設を

施政方針のあらまし

昭和四十七年度の一般会計予算案、国保事業特別会計予算案、条例改正案などを提案するにあたり、その大綱と所信の一端を申しのべ、みなさんのご批評を仰ぎご協力を得たいと思います。

総括及び一般会計

本町の基本的な計画につきましては、さきに町総合振興計画、過疎地域振興計画がきまりましたので、「豊かで明るい大根占町建設」のためにこれらの計画を現実化に即し、つつ忠実に実施にうつすよう努力をはらうてまいっております。しかし、当面の重要課題といたしましては、①交通基盤の整備、②農業振興対策、③環境施設の整備、④中学校統合推進、⑤庁舎の建築、⑥社会教育等総合施設の整備などであり、自治体の財政需要は増大の一途をたどり住民の行政需要もますますふえ現在の財政状況では住民の要望を十二分に満足させることは、さめてむづかしいですが、住民福祉のために特段の努力をはらうてまいりたいと思っております。

昨年大隅広域市町村圏の設定を、今回県においては新大隅開発計画なども発表しました。従って、これらの計画の方向を洞察し、急激な社会

の流れに対応して行く体制を整えてまいらねばならないと思っております。

昭和四十六年度は災害、港湾関係、その他不時の出費のため財政状況は悪くなつております。従って、長期的な視野にたつて計画を処理していかねければなりません。中学校統合を五十年実質統合にいたし、四十八、四十九年が校舎建築となり、また、尿処理施設も四十七、四十八年となつてまいります。このようなかから財政状況を十分に検討し、余力があれば庁舎に取り組みたいと思っております。

昭和四十七年度の予算編成に当っては、このような観点のもとに重点目標を①過疎地域振興計画、広域市町村圏計画とを兼ね合わせて交通基盤の整備②生産拡大等農業の振興③ごみ処理施設、尿処理施設等環境衛生施設の整備④小学校教育施設の整備と中学校統合の諸準備において編成いたしました次第であります。振興計画の基本構想に示している四項目の理想像の開発目標を実現することこそ私に課された課題であり、これに全精力を傾けてまい進してまいる所存です。まず、農業開発はきわめてむづかしい状況にあります。

第一次農業構造改善事業において基盤整備を図りつつ、たばこ、果樹を主幹作物として畜産、養蚕、茶、園芸などの生産拡大、自立経営農家の育成など近代的農業確立のため推進してまいっております。本町の場合生産性が依然として低位にあり、今後、この趣旨で推進して行きたいと存じます。とくに畑作振興については、県が計画している肝属南部等広域農業開発基本調査に即応して、畑地かんがいなどの計画が実現できるよう、みなさんとともに努力してまいりたいと思っております。

基幹道路の整備につきましては、国道二六九号線は城ヶ崎を除いて四十八年度完成のめどがついており、県道串良内之浦大根占線、花ノ木附近も四十七年度改良工事施行の見通しです。他の三つの県道も部分的に改良が行なわれると思料いたして、とくに中央線の縦貫道路建設の計画も出ています。その実現に努力すべきだと思料いたします。これらの国道道の改良が完成しますと本町の経済発展に大きく寄与すると思料いたしますので、併せて町道の整備を急いでまいるところです。主要町道は広域市町村圏計画と過疎計画との兼ねあいで、もって整備し、一般町道は農

道整備事業と併せて実施してまいりたいと思料いたします。団体営農道整備事業により主要農道の整備はほぼ終了いたしましたので、第二次農道整備事業を計画し、舗装工事を計画的に実施、産業発展の基盤となる町、農、林道などすべての道路整備を図ってまいりたいと思料いたします。

教育振興については義務教育、社会教育の両面から検討を加えていくべきであり、義務教育については基礎教育の充実を図っていくべきであり、ますが、中学校については生徒の激減もあり、当面する問題は中学校統合問題であります。この趣旨で推進して行きたいと存じます。とくに畑作振興については、県が計画している肝属南部等広域農業開発基本調査に即応して、畑地かんがいなどの計画が実現できるよう、みなさんとともに努力してまいりたいと思料いたします。

環境衛生については、文化の向上に伴い廃棄物が多量に出ていますので、町内全域を清掃区域に指定したいと思料いたします。ゴミ処理施設については一部事務組合の設立認可があり次第、早い機会に着工できるようにしたい。尿

処理施設については、本年度着工をめどにたいま敷地選定中であり、老人福祉については、本町も七十才以上の方の医療費の自己負担の一部を四月一日から負担する計画をいたしてまいりましたが、都合で条例改正、予算措置ができませんので、決定次第早い機会にご提案申し上げ、四月一日から適用したいと思料いたします。また、町民の生活安定を図るためには、今後軽工業の誘致など積極的に行うべきだと存じます。

国民健康保険事業

国民健康保険事業については、受診率の増加、医療費の値上り、さらに老人医療対策の一環として四十八年一月から七十才以上の老人に対する医療費負担の軽減から療養費の相当の伸びが予想されます。そこで療養費の伸び八パーセント、医療費の値上り十二パーセント程度とみて編成しました。従って、月額約八百万円程度の療養費が予想されます。そして、未加入者の加入促進

水道事業

水道事業については、当初計画に比べて上まわった実績であります。物価なれば人件費の増高により今日のよう結果になっております。四十六年度見込赤字約二百八十六万円で、累積赤字総額は約一千八百九十九万四千円、うち減価償却九百六十万円であります。起債も四十八年度がピークになっております。水道料金の改正を当初計画では本年度に実施するようになつておりましたが、いまやうやく普及したところであり、ますので据置くことにいたしました。また、今後の水道利用の増加を考え、第二水源地の活用が充分にできるよう一部補強を行うと同時に、若干の機具の購入をして、修理の迅速を期してまいりたいと思料いたします。

以上施政の一端を申しのべ先に申しあげましたように幾多の重要問題が山積し、これをすべて処理することができないときはきわめて遺憾に思いますが、と馬にむち打ち、精力を結集して解決に取り組んでまいりたいと思料いたします。

家族保険新加入運動 (4月)

1枚の証書で
家族みんなの
保障が買える

郵便局の簡易保険

ごそんじですか？こんなにすばらしい保険が郵便局で発売されています。現代は交通戦争の時代ご家族みんなが危険にさらされています。ご家族の保障の第1歩をこの家族保険をお求めになつては詳しいことは、郵便局から伺いますのでおたずねください。

寺前の故大田中長吉さん
ご遺族、大田中一夫さんから
三千元
▽錦江園(老人ホーム)のお
としよりのかたがたへ
内海義司、レイ子(旧姓吉
峯、鳥浜出身)さんから、洋
上結婚にあつてと、一万円

命苦の故命苦ハルギクさん
ご遺族、命苦美義さんから
五千元
宮脇の故姫城源四郎さん
ご遺族、姫城好則さんから
三千元

次のかたがたからそれぞれ
ご寄付いただきました。厚く
お礼申し上げます。
△町社会福祉協議会へ
▼香典返しにかえて
宮脇の故姫城源四郎さん
ご遺族、姫城好則さんから
三千元

善意の話題

本年度予算はさる三月十一日、議会に上程され審議されておりましたが、このほど議決、成立いたしました。

ことしの予算は一般会計五億五千九百五十万円、国民健康保険事業特別会計一億七千六十一万八千円、上水道事業

自主財源が少なく 中央依存度高まる町財政

池小屋体を建設

予算総額

一般会計	559,500千円
国保会計	107,618千円
水道会計	15,517千円

会計一千五百五十一万七千円となっており、この中で、わたくしに直接関係のある一般会計予算とし行なわれる建設事業などをお知らせします。

【財政事情】

近年の財政需要は非常に高まり、これをまかなう町税、財産収入などの町独自の収入は伸びず、いきおい起債（町の借金）、国県補助金、地方交付税などに依存した財政事情になっていく。

このような事情の中で、前年度に対し、三十七、九パーセントの予算の伸びを示しておりますが、その内容は、学校建築、道路整備、港湾改修その他公共施設を建設するために借用した資金の返済金、人件費、教材費、旅費、事務用品、賃金などの物件費、各種団体、事業に対する補助金などの経常的な経費の自然増と、一昨年指定された過疎事業や広域市町村圏事業、そして教育施設の整備などの投資的なものに金をつぎこんだためです。歳入は約五割を地方交付税が占め、町税は町債、国県支出金について第四位を占めています。このように自主財源はまことに低く、今後とも期待できないようです。

従って、ほとんどのおこな事業は補助金、町債をあてています。

歳入で最も大きな比重をもつ地方交付税も、過疎現象のために、その積算基礎である

人口、学級数の減少で樂觀できまへん。また町債も四十六年度末現在で、二億九千四百万円余りとなっています。この償還金もこと二、三年中に町税収入額とほぼ同額になるのではないかと予想されます。このような財政状況下にありますので、今後その執行についても十分注意して健全な運営を計ることが必要です。

【ことしの事業】

町有林整備事業五百六十七万円

植栽面積十四ヘクタール

下駄面積百四十九ヘクタール

納骨堂建設（老人ホーム）四十八万円

ごみ処理施設負担金 百万円

田代町と共同して組合をつくりましたので、その建設事業費の負担金です。規模一日十三トンの焼却能力

失業対策事業 千二百九十万円

町道各線の維持補修と海岸線の舗装四百メートル 登録人員二十四名

農道整備事業 一千六十五万円

神山線舗装延長一千三百三十メートル

県単土地改良事業 三百万円

鳥井戸排水路延長百五十メートル

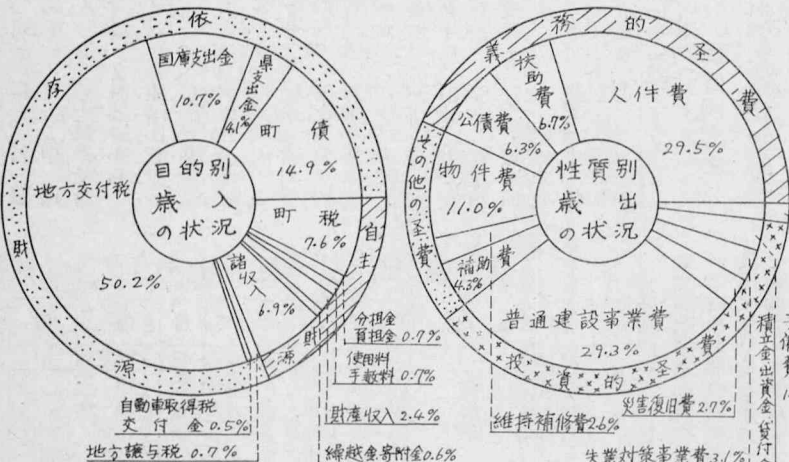
水田航空防除 二百万円

面積二百十ヘクタール、関係農家九百戸、年二回反当メオパール四区を散布

ピーマン共同育苗奨励 百四十万円

二セツト増設に対し、一セ

昭和47年度一般会計予算の状況



目的別歳出の状況

総務費	民生費	衛生費	農業費	土木費	教育費	公債費	その他
14.3%	10.2%	5.2%	11.0%	23.7%	15.9%	6.3%	7.0%
議会費 2.9%				労働費 3.4%			

町道改良 五千四百五十三万円

松尾線改良六百メートル、舗装一千メートル、馬場中原線改良八百メートル、厚ヶ瀬線改良、二百メートル舗装八百メートル、命苦線改良舗装五百メートル、白水線改良、舗装四百五十メートル、皆倉線舗装五百三十六メートル

県単舗装工事負担金 百十五万円

農道舗装（老崎、笹原）に

神川線の流末処理など

町道補修 六百二十万円

町道各線の砂利散布、トラフ布設、ガードレールなど

海岸堤のしん蝕防止のため

の六脚ブロック設置工事負担

二戸建設する。

昨年先行取得した用地に十

百五十万円

災害の危険のある住宅五戸について計画

消防施設整備事業 七百二十

万円

防火水そう五

基、運搬車一台

（神川）、動力

ポンプ二台（池

田、宿利原）動

力ポンプ置場建

設（大尾）消火

栓ボックス十ヶ

所

神川小学校プー

ル建設事業 七

百六十万円

面積本プール

三百平方メー

トル、二十五メ

ートルが五コー

ス補助プール百

平方メートル

池田小学校屋

年金係から お知らせ

国民年金に加入されている方で保険料の未納期間（昭和四十六年度除く）がある場合は原則として二年以上経過している保険料については時効によりその保険料を納めることができません。ただし、ことしの六月三十日までは特別に昭和三十六年以降の未納期間の保険料を納めることができますので詳しくは国民年金係におたずねください。



[4]

る卵、肉、魚、貝、牛豚の肝ぞう、トーフ、納豆、鉄分を多く含む肝ぞう、卵黄、鯨赤味、ほうれん草、ビタミンB群を多く含む動物性食品（肉キモ）、緑黄野菜、チーズ、乳製品、葉酸というビタミンを多く含む牛豚の肝ぞう、ほうれん草、人参、バナナ、無機質を多く含む脱脂粉乳、海藻類、牛豚の肝ぞう、干ブドウなどバランスのとれた栄養をとり、消化のよい料理の工夫をして我が家の食生活の設計をいたしましょう。

バランスのとれた食事が貧血を予防し、健康な生活を保証します。